

令和2年7月4日 福井県内科医会 特別講演 2 要旨

演者 福島県立医科大学会津医療センター

総合内科学講座教授 山中 克郎先生

●我が国の総合診療の第一人者、福島県立医科大学会津医療センター教授の山中 克郎（かつお）先生より講演をいただいた。新型コロナの関係もあり、山中先生には、福井県内科医会では初めての、福島県からのリモートでのご講演をいただいた。

●山中先生ご略歴：1985年に名古屋大学医学部をご卒業、名古屋掖済会（えきさいかい）病院で研修をスタート。1989年から4年間米国シアトルのバージニア・メイソン研究所に研究員として留学し、帰国後 名城病院、国立名古屋病院を経て、99年からカルフォルニア大学サンフランシスコ校（UCSF）に再度ご留学。この時に“診断の神様”ローレンス・ティアニー教授に出会い総合診療の道を歩まれるようになった。帰国後、名古屋医療センターの総合診療科、藤田保険衛生大学 一般内科・救急総合診療部の准教授を経て10年からは救急総合内科・教授職に就任。しかし14年、諏訪中央病院内科に転身、2019年より現職に就任され、一貫して内科総合診療の研鑽・発展・若手の指導に努めている。病院のホームページでは、問診と基本的診療で85%の疾患は診断が可能との先生のメッセージが書かれている。また、〈ダビンチのカルテ〉、〈外来を楽しむ〉、〈Dr

山中の攻める問診>など さまざまな著書・DVD を出版されている。

<講演>

●福島県立医科大学会津医療センターは男体山が見える所にある。

・今年田植えに挑戦された 標高 600m 体痛くてロボット状態

・会津医療センター 200床 福島県立大学分院

●発熱外来 iPadによるリモート診察 体温計、SPO2モニター

・診察 心音、呼吸音聴診なくなり→自分の価値観が消滅したような気分

・元気そうなら 体温、SPO2のみ、血圧は測らない

・肺炎の診断は 症状+SPO2+呼吸回数

・マスクをしていてDrの顔が見えないので、胸ポケットに、大きめの笑顔の写真を付ける

・iPadを使った非接触診療

・ルーチンで行っていたことが大事でなかったと気づいた・会議がなくなった

・出張もすべてなくなったし、編集会議もズームでできる

●詳細な病歴と注意深い観察でたくさんの事がわかる

●動画や写真から振り返って学ぶ

●逆推理をしている

・普通、将来の事を推理する

・東京で3日連続100人のコロナ→飛行機や新幹線の通るところ患者増えるん

では、株が下がるのではと推理

・病歴と観察力→妄想して疾患を考える

●症例1：19歳の男性 健診 高1で体育の授業中に心肺停止の既往ありA

EDで救命されICD装着している。原因は不明だった。

・手が開きにくい

**診断：筋強直性ジストロフィー**

・斧様願望、把握ミオトニア、顎そる、おでこかはる、前頭部禿 19歳

側頭部 筋萎縮

●症例2 61歳 男性 主訴：左手が動かない、既往 DM, HT

主訴：左手の背屈ができず、しびれる 病歴：バス旅行で佐渡旅行して眠って起きたら動かなくなっていた。

・診察 左手背屈できず、しびれあり、下顎が出ている、前歯がすいているが、鼻が大きい、眉毛が前に出ている、巨舌 heel PAD が分厚い、

・診断のため家族に過去の写真を持ってきて一同窓会に行くと皆、自分だけ誰かわからないという

**診断：末端肥大症 (acromegaly)**

診断の基本：眉間の隆起、鼻や舌が大きい、下顎の突出、過去の写真を持ってき

てもらふ、指輪が入らない、靴のサイズが大きくなる GH, 血中 IGF-1

測定、 合併症：SAS、DM、HTを起こす

●症例3：70歳、男性 主訴 ふらつき、病歴 22歳で被害妄想で精神科通院

診察：ガニ俣歩行（小脳失調か後索障害）

・後索障害：小脳失調 閉眼でふらつき、後索障害 開眼していてもふらつく

・開脚歩行、内科、または外科で深部覚、痛覚チェックする

VB12欠乏症は多い疾患、そのリスク 萎縮性胃炎、PPI、ビグアナイド、

肉や野菜を食べない、胃切後

診断：VB12欠乏症 連合性脊髄変性症

・治療が遅れると不可逆性神経障害にいたる

マハトマ・ガンジーの言葉：明日死ぬつもりで生きろ、永遠に生きるつもりで学

●症例4 62歳 男性 けいれん

・今朝から数回、同様のけいれん発作、発作中は開眼し大声で喚く、会社から100

億円を超える負債の責任をとらされ精神的に不安定

妄想タイム

発作中に会話ができる、四肢の動きが左右バラバラ、初回のけいれん発作

、低酸素、脳血管障害、VB1欠乏症、アルコール離脱

診断：うそっこ痙攣・解離性障害など心因性に痙攣がおきているものを疑う

●症例5 26歳女性、7日前から咽頭痛、手足のかゆみがあり救急室を受診

のどの痛み、頸部がうづく、翌日から全身の皮疹、2日前に全身の皮疹

職業：ホステス

診察 腕にも広範な皮疹 やや消退 盛り上がり少し、眼の強膜血管拡張あり

上強膜炎疑う、睫毛ながい、口腔内 アфта、5日前 市販薬 ジキナ内服

**診断；風疹**

・しっかりした問診と観察のみで診断にたどり着くことが可能

●初めてのリモート講演ですが、大塚製薬さんには前もってのリハーサルもい

ただき、画面がとぎれることもなく、スムーズに講演が終了しました。

(福井県済生会病院 内科 前野 孝治)